

感謝

浅田 悠允 明德義塾高2年

私は現在、親元を離れて寮生活をしている。一年半ほどたつが、両親の存在の大きさを改めて実感している。なぜなら、家で両親がしてくれる基本的なことを寮では全て、自分がしなければならぬからだ。

洗濯や掃除などは家に居ればいつの間にか終わっているが、寮生活をしている以上、自分がしなければ終わらない。母が毎日こなしている仕事はどれも大変か、身をもつて知ることができている。

また両親は、精神面でも私を支えてくれている。例えば私はバスケットボール部に所属しているのだが、公式戦のメンバーに選ばれなかった時、いつも励ましの言葉をかけてくれる。

その温かい言葉に私は、何度も救われた。不安を押しつけ送り出してくれるハートの強さや、私の挑戦を日々応援してくれる優しさに頭が上がりません。

そんな生活を送る中で両親に感謝することの大切さを、

とても感じている。高校生の時点で親に口頭から感謝する人は少ないと思う。

なぜなら、家に居れば一日の中で必ず一回は顔を合わすからだ。感謝はしていても照れくさくて、伝えられない人もいるだろう。

しかし、何が起るか分からない世の中で、いつ事故や事件に巻き込まれてもおかしくない。言える時、ふと思つた時に自分の口から「ありがとう」と伝えることが、一番大切ではないだろうか。